

## 水防災意識社会再構築ビジョンにおける減災対策協議会について

平成27年9月関東・東北豪雨では、流下能力を上回る洪水により利根川水系鬼怒川の堤防が決壊し、氾濫流による家屋の倒壊・流失や広範囲かつ長期間の浸水が発生しました。また、これらに住民の避難の遅れも加わり、近年の水害では例を見ないほどの多数の孤立者が発生する事態となりました。今後、気候変動の影響により、このような施設の能力を上回る洪水の発生頻度が高まることが懸念されています。

こうした背景から、平成27年12月10日に社会資本整備審議会会長から国土交通大臣に対して「大規模氾濫に対する減災のための治水対策のあり方について～社会意識の変革による「水防災意識社会」の再構築に向けて～」が答申され、氾濫が発生することを前提として、社会全体で常にこれに備える「水防災意識社会」を再構築する必要があるとされています。また、そのための施策として、関係者が連携して避難に関する計画の作成や水防等の減災に関する様々な課題に対応するための協議会等の仕組みを整備する等、円滑かつ迅速な避難の実現、的確な水防活動の推進等を図るための取組を進めるべきとされています。

## 網走川・常呂川・湧別川・渚滑川 減災対策協議会について

網走開発建設部では、網走川・常呂川・湧別川・渚滑川の流域自治体や関係機関と減災のための目標を共有すると共に、ハード対策とソフト対策を一体的、計画的に推進し、網走川・常呂川・湧別川・渚滑川流域において氾濫が発生することを前提として、社会全体で常に洪水に備える「水防災意識社会」を再構築することを目的とし、河川管理者等からなる「減災対策協議会」を設置しました。

### 第1回 網走川・常呂川・湧別川・渚滑川 減災対策協議会の開催

平成28年4月26日、網走開発建設部、網走地方气象台、オホーツク総合振興局などの関係機関長や網走川・常呂川・湧別川・渚滑川における4水系の3市7町の首長（網走市、北見市、紋別市、美幌町、津別町、大空町、訓子府町、置戸町、遠軽町、湧別町）が集まり、4水系合同の「第1回 減災対策協議会」を網走市民会館で開催しました。

日時：平成28年4月26日（火）11:00～12:15  
会場：網走市民会館 3階 大ホール  
出席者：総人数48名（内、報道関係者3名）



## 第1回 網走川・常呂川・湧別川・渚滑川 減災対策協議会の様子

### 【議事内容】

- 減災対策協議会の趣旨や各河川(4水系)の減災対策協議会規約について説明を行い承認を得て、オホーツク管内の流域関係機関及び自治体として、減災対策の具体的な議論を行うため、幹事会を設置することとなりました。
- 当開発建設部から「現状の水害リスク情報や取組状況」、気象台から「新たなステージに対応した防災気象情報」についての情報提供を行いました。
- 「減災のための目標(案)の5年間で達成すべき目標」と「目標達成に向けた”3本柱”の取組」について共通認識・確認を行いました。

